

5 たどる力

因果関係を整える②

ちから

① 次の(1)〜(2)の文章は、因果関係が適切ではありません。それぞれの〈修正方法〉に従って、文章全体を書き直しなさい。

(1) 赤い光は心を興奮させる効果があるが、青い光は心を落ち着かせる効果がある。
 だから、赤い光の多い場所にいるよりも青い光の多い場所にいるほうが、心が落ち着くはずだ。

〈修正方法〉 2文めの部を、1文めの部と異なる内容にする。

●ポイント●

● (1) (2) どちらも、もとの文章のおかしさに気づくためにできることは、いくつかあります。
 まずは、「だから」の前後の文を、続けて音読してみましょう。
 何度も繰り返しながら、1回めより2回め、2回めより3回めの音読スピードを上げていきます。そうすると、たしかにおかしなことを言っている、と思えるようになるでしょう。

①(1)
 月 日
 評価
A B C
 解説は143ページ

①(2)
 月 日
 評価
A B C
 解説は144ページ

(2) 緑や赤のチョークで黒板に文字を書いても、あまり目立たない。
 一方、白や黄のチョークで黒板に文字を書くとき、目立つ。
 だから、黒板には、緑や赤ではなく白や黄のチョークで文字を書くほうが、よく目立つと言える。

〈修正方法〉 3文めの部を(※)、2文めの部と異なる内容にする。
 ※3文め全体を変えてもよい。

●ポイント●

● もとの文章のおかしさに気づくために有効な方法があります。
 それは、「だから」の前後の文の述語(述部)のパーツに線を引き、そこだけを「だから」でつないで、読んでみることです。
 (1) 「心を落ち着かせる(効果がある)→だから→心が落ち着く」。
 (2) 「目立つ→だから→目立つ(と言える)」。
 前後でほとんど同じことを書いているということに気づきますね。
 「だから」をわざわざ使うからには、前後で違った内容になっていなければなりません。
 こういったミスを防ぐために、自分自身でチェックする方法を身につけておくようにしましょう。